



# 久留米大学商経同窓会報

KURUME UNIVERSITY SYOUKEI ALUMNI BULLETIN No.30



## 月光の渚

上床一幸（昭和39年卒・一期会所属）

満月に近い2013年3月26日、月灯りと海を撮りたくて津屋崎海岸に出かけた。3月とはいえあたりはまだ寒々として、しかも曇りがちな空模様。真夜中の12時過ぎに三脚にカメラを固定しチャンスを探うも、厚い雲に覆われて時折り顔を出す月灯りをたよりにシャッターを切り続けた、午前3時24分頃の一枚…夜明けはもうすぐだ。



# 年 頭 所 感

久留米大学商経同窓会

会 長 大木 武彦 (昭和42年卒)



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。会員の皆様には日頃より各支部におかれまして、活発な同窓会活動を実施され、また物心両面からご支援を賜りまして厚くお礼と感謝を申し上げます。私ども本部役員といたしましても、同窓会の目的である会員の親睦と連携、大学の発展に寄与すべく日々全力を尽くしているところでございます。

## 《お・も・て・な・し》

昨年1年間は1月19日の都城支部会を皮切りに、北九州支部、久留米支部、八女支部、佐賀県支部、鳥栖・三養基支部、福岡県南支部、筑邦銀行支部、宮崎支部、日田支部、長崎支部、関西支部、筑邦銀行・久留米市役所交流会、東京支部、嘉飯支部、愛媛支部会が開催され私も参加させて頂きました。各支部が大変な努力をされ、知恵を絞って特色ある支部会を実施されておられることに深い感銘を受けました。支部のご活躍が同窓会全体の活性化につながり、引いて

は久留米大学の発展に寄与していることを各地を訪問させて頂くたびに強く感じております。心から感謝と敬意を表する次第でございます。

懸案の御井キャンパスの新棟建築の起工式が9月4日に挙行され、いよいよ平成28年10月の完成を目指して工事が進んでおります。学生生活、教育、研究、管理棟として後世に誇れる21世紀型の大学建築物の出現が待たれます。

## 《今でしょ！》

さて、一昨年の衆議院選挙の自民党大勝を受けて誕生した安倍政権は、アベノミクスを掲げて、ともかくにも20年に及んだ政治経済の停滞からの脱出の端緒を見出したかのように思われます。とりわけ経済が「気」によって突然明るい方向に転じるということを私たちは経験しつつあります。「経済は気から」、「病気も気から」でしょうか。2020年の東京オリンピックの開催も経済効果をもたらす明るい材料となりましょう。しかし、一番忘れてはならないことが東北震災、原発事故からの復旧であ

ることは言うまでもありません。多くの被災者の人たちが、今なお不自由な仮設住宅や避難生活を余儀なくされていることを同胞として一時も忘れてはなりません。他にも原発の存続か廃止か、日中、日韓の軋轢、特定秘密保護法など気になる問題にも注視していかねばなりません。

## 《じえじえじえ》

久留米大学の教職員の中から、文学部国際文化学科の宮原信孝教授（久留米育ち、莊島幼稚園、鳥飼小、久大附設中・高、東大卒、外務省、久留米大学、55歳）が「久留米市の停滞打破」をスローガンに、本年1月26日(日)の久留米市長選挙に立候補されています。私ども久留米大学商経同窓会としても、個人の自由意志による友情応援をしてあげたいものです。創立85年になる我が久留米大学の関係者から、久留米市長が誕生することは大変嬉しいことだと思います。末筆となりましたが、会員皆様の本年ますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

## 大学生の「生徒」化



商学部長 福永文美夫

最近の大学生は、自分のことを「生徒」とよく言います。10年程前はそれほどでもなかったのですが、特に近年目立つようになりました。言うまでもありませんが、中学・高校までは、学校で勉強をする人を「生徒」と言います。大学で学ぶ人を「生徒」とは言いません。大学で学ぶ人を「学生」と言います。

また、高校は勉強をするところであり、大学は学問をするところ

です。勉強とは、ある問題に対する答えを学ぶことです。最初から正解があるのです。つまり、ある問題に対する答えを学び、覚えることです。しかし、学問とは、学びを問うと書くように、答えのない新たな疑問を発することです。つまり、既存の答えから新たな問いを発することです。言い換えれば、答えのないのが学問です。そのためには、つねに自分の頭で考えることが必要です。これでいいのかと自問自答することが必要です。この自問自答することが、大学生活において最も大切なこととなります。実社会に入ってからと同様のことがいえると思います。

学生は、英語でstudentと言います。studentとは、もともとは研究者を意味するものでした。その後、学生を意味する言葉になりました。学生が学ぶものは、勉強

ではなく学問です。一方、生徒は英語でpupilと言います。もともとは、孤児あるいは被後見人の意味でした。それが、現在の生徒という意味に変わってきています。生徒の「徒」は、「なにもしない」「一緒に事をする仲間」という意味があります。つまり、中学・高校では、先生の言われるとおりに団体行動をすることが求められます。大学では、団体行動ではなく個人の意思が非常に大切になってきます。

このような最近の大学生の「生徒」化は、ゆとり教育の影響かもしれないかもしれません。社会人になって「生徒」のような甘い姿勢で仕事をされては、同窓会の皆様もお困りのことと存じます。そうならないように、大学で本来の学問を教育することが今、本当に求められていると思います。

## 新年のご挨拶



経済学部長 山田 和敏

新年、明けましておめでとうございます。

経済学部は、昨年9～10月に創設20周年記念行事を行いました（公開講座、シンポジウム2件）。その際、貴同窓会より物心両面にわたり色々とお配慮いただき、お陰様で行事はすべて無事に終了することができました。皆様に御礼と

感謝の意を表する次第です。

また、昨年秋には、7年に一度の大学基準協会による大学実地調査も実施され、学部長としてかなり緊張して臨みましたが、まずまずの出来であったと感じています。経済学部では原田教授を委員長として自己点検評価委員会を設け、多くの時間を費やして綿密な根拠資料と評価報告書を準備しました。実は、委員各位に任せっきりで、私自身はほとんど何もしていないのですが、それでも調査日が近づくと胃が痛む毎日でした。

今年は学部20周年の記念論文集を刊行予定で、5月発行を目指し、現在、原稿集めに奔走中です。この論文集の刊行で記念行事はすべて終了し、新たに30周年に向けての第1歩を踏み出すこととなります。

私はこれまでの経験から、同窓会と父母の会は学部運営にとって車の両輪だと考えております。どちらか一方でも上手く回転しなければ、学部運営は滞ってしまいます。逆に、上手く両輪が回転すれば、快適なドライブを楽しむことができ、素晴らしい場所に到着できるでしょう。このために、できる限り多くの同窓生の皆様にお会いして、近況や御意見等を伺い、学部運営に反映させたいと願っています。今後、少子化の進行は自明のことです。大学もますます苦境に立ち入るでしょう。しかし、これをチャンスと捉え、皆様の御支援の下、学部の進むべきルートを模索していく所存であります。今年も御指導御鞭撻の程、宜しく申し上げます。

# 平成25年度代議員会・定期総会を開催

平成25年度代議員会・定期総会は4月20日(土)午前11時より学生会館3階ミーティングルームで開催されました。出席者96名で開催し、荒川議長により、

- 第1号議案 久留米大学商経同窓会会則等改正案承認の件
  - 第2号議案 役員等欠員補充承認の件
  - 第3号議案 準会員入会承認の件
  - 第4号議案 平成24年度事業報告承認の件
  - 第5号議案 平成24年度収支決算承認並びに監査報告の件
  - 第6号議案 平成25年度事業計画案承認の件
  - 第7号議案 平成25年度予算案承認の件
- の議案が進められ、いずれも可決承認されました。

## 会長挨拶

皆さんこんにちは。会長の木村でございます。本日はあいにくの雨模様でございますが、暦では24節季の第6、穀雨の日でございます。田畑の準備が整い、それに合わせて春の雨が降る頃です。農家や植物にとっては大事な雨ですので、どうかご勘弁願います。改めて代議員会・総会にご出席いただきましてありがとうございます。代議員の皆様とこのように年に一度お会いできることを私も幹事一同は楽しみにしております。また代議員の皆様には日頃より各支部会を通して同窓会活動へのご協力を賜りまして、本部を代表いたしまして厚くお礼申し上げます。

また本日はお忙しい中、福永商学部長様、山田経済学部長様にご臨席を賜り、錦上添花を添えて頂きまして誠に有難うございます。さらに、後ほど行われます懇親会には薬師寺名誉学長先生、折戸法学部同窓会長、矢島文学部同窓会長がご出席でございます。

さて、私は昨年5月から今年3月までの1年間にありまして、東京支部から宮崎支部までの17支部総会のうち、15支部総会に参加させていただきました。各支部の会員皆様が久留米大学ここにありの気概を持って、それぞれ大変な熱意で支部総会を開催されているお姿を目の当たりにし、深い感銘を受けました。中には就職先をお世話したとの話、親子二代で息子が現在学部にて在学中などの話にも接し、大変有難く感謝の気持ちでいっぱいでございます。少子化の中での大学間の生き残り競争は、これからも年々厳しさを増してゆくと思えます。われわれ同窓会といたしましても、久留米大学への入学志願者の増加、就職先の紹介・斡旋など、協力できることは何でもやって、久留米大学の名を世に高め、広めてゆかねばならないと思っております。

最後になりましたが、本日はこのあとの議事で、7つの議案が提案されております。各担当から説明があると思いますが、どうかご審議、ご承認かたよろしくお願い申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。



## 福永商学部長挨拶

おはようございます。4月1日より商学部長を拜命いたしました福永文美夫と申します。英語に訳しますと「happy forever character is beautifulman」名前負けしておりますが、非常におめでたい名前になります。出身は山口県下関市で5、6年前の関門支部会開設の折に支部会に出席させていただき、当時の支部長とは今も年賀状交換をしております。民間企業に就職後、30歳で大学院に入り、助手を経て、36歳で久留米大学に来て、今年で20年になり、昨日で56歳になりました。商学部長になりまして、これからますます久留米大学発展のため、努力を重ねて参りたいと思います。

今年に入ってから、久留米支部会と佐賀県支部会に杉本前学部長と一緒に邪魔しました。非常に団結力があり感銘を受けました。これから、本格的に支部会に参加しまして、皆様方から意見を頂戴し、大学運営、学部運営に反映して参りたいと思います。今後ともよろしく願いたします。

## 山田経済学部長挨拶

おはようございます。経済学部長の山田でございます。ここでご挨拶するのは今回で3回目となります。学部長は2期目となり、これから2年間またよろしくお付き合いをお願いします。また、日頃より物心共にご支援いただき厚く御礼申し上げます。

経済学部は平成6年開設で今年20周年目を迎えております。会報等でご紹介いたしました。今年度後期より記念事業を開始します。2つのシンポジウムと公開講座、来年4月以降に記念論文集を出版予定です。同窓生の皆様にはシンポジウム、公開講座に多数ご出席いただければありがたいことです。

また、近年の少子化の影響により入学者が減少しているため、経済学部では今まで控えておりましたが、在学生の父母、卒業生に初めての寄付のお願いを考えているところです。是非、よろしく願いたします。

本日の会が盛会に終了されることを祈念して私のご挨拶いたします。

## 商経同窓会平成24年度決算・平成25年度予算

借 方				貸 方			
款	項	25年度予算	24年度決算	款	項	25年度予算	24年度決算
事業費		9,181,000	7,986,272	会費収入		12,470,000	12,720,000
	寄付	0	0		入会金	11,420,000	11,880,000
	学納金援助基金	0	0		会費	300,000	285,000
	旅費	2,300,000	1,871,200		終身会費	750,000	555,000
	奨学費	96,000	32,000	利息収入		50,000	33,712
	会議費	1,000,000	906,499		預金利息	50,000	33,712
	渉外費	50,000	65,760	雑費収入		40,000	37,225
	支部対策費	1,200,000	1,342,700		雑収入	40,000	37,225
	印刷費	500,000	410,835	事業積立金取崩		0	0
	賃借料	30,000	23,940		事業積立金戻入	0	0
	会報費	2,400,000	2,380,338	小計		12,560,000	12,790,937
	補助費	1,600,000	948,000	前年度繰越金		2,420,787	3,357,076
	会費	5,000	5,000	合計		14,980,787	16,148,013
事務費		4,080,000	3,180,954				
	職員人件費	2,480,000	2,338,498				
	社会保険料	400,000	343,141				
	通信運搬費	200,000	216,866				
	消耗品費	100,000	63,698				
	修繕費	50,000	0				
	雑費	650,000	181,996				
	備品費	160,000	0				
	支払手数料	40,000	36,755				
積立金繰入		1,500,000	2,500,000				
	基本金支出	200,000	200,000				
	事業積立金支出	1,300,000	2,300,000				
	学納金援助基金支出	0	0				
予備費		219,787	60,000				
小計		14,980,787	13,727,226				
次年度繰越金		0	2,420,787				
合計		14,980,787	16,148,013				

## 平成26年 代議委員会・定期総会

お知らせ

- 日時 平成26年4月26日(土) 午前11時
- 会場 久留米大学御井学舎学生会館3階

久留米大学商経同窓会  
 総務委員会  
 〒839-8502 久留米市御井町1635番地  
 syoukei@ktarn.or.jp  
 TEL 0942-44-2432 FAX 0942-44-3846

## 第一線インタビュー (44)

旅行とはお客様が  
非日常的な時間を楽しむもの

## 堀川トラベルサービス株式会社

取締役副社長 金納雅彦 氏(昭和46年商学部卒)

大手旅行会社でなく中小企業でここまで人生経験を深め、築き上げられたのはお客様に誠心誠意尽くした成果であり感動そのものである。(上床)



金納雅彦氏

## 塞翁が馬

在学中教職課程を修得し、ある私立高校の教育実習も終え教員としての船出が約束されていた。

昭和46年の卒業年次のある日、ポン友から堀川バス(株)を受けてみんな、と誘われ、全くの優柔不断、動機不純で入社試験に臨んだところ、ポン友と私だけが受かってしまいました。教員免状さえあれば、何時でも教員になれるのだと軽い気持ちと社会勉強の意味もあり、入社することにしました。

この冷やかかし入社から43年間、社長にまで上り詰めることができました。



## 学生服で添乗員

入社まもなくのこと、ツアーに添乗の命を受けました。経験のない私は躊躇しましたが、学生時代の演奏会で司会進行を任された自信もあったことから、添乗することにしました。

車中では少しのエピソードを織り交ぜながら、それでも精一杯の努力でお客様に喜んでいただき、なんとか無事に役目を終えることができました。

## 厳しい試験

堀川バス(株)は創業90年の歴史を持ち、八女市、みやま市、久留米市をテリトリーとした公共交通機関です。

その一方、堀川観光バスや堀川トラベルサービスはバス本体から独立分離した、言わば収益重視の企業です。しかし、小泉元総理の規制緩和で個人経営を含め、なんと福岡県だけで80社近くも増え、安売り合戦の激化と、あの関越自動車道での痛ましい事故を契機に規制が強化され、多くのバス会社が消えていきました。



## 添乗員として本格始動

堀川バス本体から堀川トラベルサービスに出向しての25年間、それは苦難の年月でした。

会社の浮沈を担い、顧客獲得に奔走する日々が続く中、仕事に自信を失いかけたある日、高校の恩師を尋ねた折、「鶏口となるも牛後となるなかれ」と諭され我に返りました。それからは一念発起、お客様は旅行会社に何を求めているか、満足度は何かを分析し、「旅行とは非日常的な時間を楽しむもの」だと結論に至ったわけです。

そのためには出発から帰還までの一貫したサービス、つまり小回りを生かした運行の企画立案を実行することでした。幸いにもわが社は大手のJTBや近畿日本ツーリスト等と違い、営業、企画、添乗員すべて一人の営業者(添乗員)が仕切ります。まさにフェイス-to-フェイスの関係です。しかも大手既成路線上の主催旅行と違い、相手の様々な要望を受け入れた上で手作りしていく、言わば手配旅行で、それこそわが社の最大の強みでもあります。添乗員として一宿一飯(実際は二泊三日から一週間)の繰り返しで、より深い信頼関係を構築し、結果としてお客様のリピートや紹介が舞い込んできます。



## 主催旅行と手配旅行

主催旅行は新聞やTVCM等でよく見かける目的地、日帰り、宿泊費用を主催者側であらかじめ設定して募集している旅行です。それに対して手配旅行は企業、学校、各種団体などからの様々なニーズに応えながら、企画立案して実施するもので、言わば手作り旅行です。わが社の特徴はこの手配旅行に営業の80パーセントの比重を置き、お客様からのリピート率70パーセントの大好評を得ています。なぜなら常にお客様に感動を与えるプラスワンのサプライズを企画しているからです。

## 趣味は身を助ける

職歴46年中、25年間は私の天職とも言える添乗の仕事でした。学生時代にバンドの司会進行、音楽とくに洋楽や洋画が大好きで、膨大なレコード、カセッ

ト類を蒐集していました。例えば、香港ツアーの場合の夜景見学でそれとなく、「慕情の曲」を流し、アトランタの場合は「風と共に去りぬ」、イタリアは「ペンハー」、スペインと言えば「闘牛士」と、その時々ツアーシーンにあわせて企画・演出することで、お客様から大感激、大好評を受けました。まさに趣味は身を助けるです。

## 感動の倍返し

ある日、特別支援学校(養護学校)から生徒25名を京都・奈良に2泊3日の修学旅行に連れて行きたいと言う相談がありました。当時(30年前)、各旅行会社は障害者のツアーは手間隙、事故や不採算などの理由で敬遠されていたところ、学校側から子供たち「旅」の楽しさや社会体験をさせることで、自立心を養わせたいからと、幾度となくお願いされ、決死の思いで引き受けました。想像を絶する旅行でした。

ところが数日後、父兄を交えてこの度の旅行反省会に招かれて、学校側から「ツアー添乗の苦勞や採算外視をねぎらわれる一方、堀川トラベルを大いにお引き立て、ご利用下さい。」との挨拶があり、感動させられました。もちろん、ツアー客からのリピートが倍返しの効果に結びついたことは言うまでもありません。

## 添乗記録

国内=北海道から沖縄まで全都道府県  
海外=35ヶ国、230都市

## 企業理念

最高の顧客満足を提供しリピート率日本一を目指す。  
感動経営体づくり…「感動」は「人が人に与えるもの」である「感動人間集団」を作り上げる。

## 許可・登録

福岡県知事登録旅行業第2種746号  
社団法人全国旅行業協会正会員  
勤務先(八女支店)  
〒834-0063 福岡県八女市本村347-1  
TEL (0943) 21-2100  
FAX (0943) 24-2106



上床と金納氏

第一線インタビュー (45)

入社9年目！  
今はブライダル営業に全力投球

株式会社リーガロイヤルホテル小倉  
植村 昭彦 氏(平成16年経済学部卒)

自らが掲げる人とのふれあいを大切にして、接客を学び、営業職を積み重ね更なるプロのホテルマンを目指す積極さは、期待されるに充分 (朝久)



植村 昭彦 氏



学生時代の地域交流、アルバイト

大学時代には、授業で市民環境大学に参加して環境問題をテーマに地域の方々

と触れ合おうことが出来ました。なかでも、企業のいろんな業種の方とも交流を持つことができ、そこでの人とのかかわりが楽しく貴重な思い出となりました。

また、アルバイトも多く経験しましたが、その中で、居酒屋でのアルバイトが特に楽しく感じました。それは人と接することでした。このことが接客をしていて人と触れ合う事が出来る仕事をやってみたくてという思いに繋がりました。仕事で接客と考えた時、イメージしたのはホテルでした。そしてホテルで営業と言う仕事に興味を持ちました。

厳しい就職活動

就職活動では、経済学部でもあり、ホテル業以外の一般企業の営業にも興味がありました。

当時、就職活動では、自分の行きたいと思う企業の就職試験には、みんな、なかなか受かりませんでした。求人はないことはなかったのですが、自分の思った仕事になると募集も少い状況でした。

私自身もホテルや旅行会社を受けましたが厳しく、1年間はアルバイトをしました。

希望業種への入社

少ない求人募集の中、ホテル業を当たっ



ていましたら、リーガロイヤルホテルの募集があり応募しました。

1年を経て念願のホテルに入社できました。入社したリーガロイヤルホテルは、本社が大阪でグループホテルが各地にあります。現地採用で基本的には転勤は無く、研修等で本社へは行くことはあります。

リーガロイヤルホテル小倉は小倉駅北側にあり駅の裏口というイメージがりましたが、最近では小倉記念病院などが移転してきたこともあり、ここ数年で雰囲気は随分変わってきました。



ホテルでの営業

現在、入社から9年目になります。

入社してからの7年間は法人営業(ホテルの商品全般を売る営業)を担当して、宿泊、同窓会などの宴会、レストランでのレジなど幅広く経験しました。

営業先は北九州の主だった企業を廻って忘年会しませんか、新年会をしませんかと言った営業で、大小宴会を問わず、何でも頂くということでした。

決まっていた話がキャンセルになることなど、何処の営業にもある事でしょうが、特に、当社は入り口で値段が高いというイメージがあるようです。

これを克服するために、お客様の要望をお尋ねし工夫することでクリアすることが必要になってきます。そしてまずは来て頂くことが大事でした。

今は、ブライダルを専門に2年目です。ここでは、結婚式をお手伝いする仕事をしています。

主に結婚式で、検討半ばのカップルの方で何処の会場でしょうか、どういう風にしようかと考えている方をご案内し、いかに取り込むかと言った営業です。

お客様には、こんな結婚式をしたいといった思いもあるので、そのご要望をお聞きしながら、このホテルでそれが叶うのかなどご相談にのるような仕事です。

料金、日程などを調整して申込んでいただくまでが、私の役割となります。

ホテルには、ブライダルに必要な美容室、お花屋などの店舗があります。お客様は女性中心。

その中で男性らしさを心がけています。また、これまでのスマートに対応というよりも、お客様は一生懸命にやっている姿に癒えてくれます。

リーガロイヤル小倉は、ブライダルでは立地条件に恵まれていると思います。

それは福岡と大分などの中間点に位置して、アクセスが良いことです。

今後も利点は生かして接客、営業にまい進していきたいと思っています。

今後の取り組み

ブライダルでいくのかは、自分では選べないが、ホテルでの営業で期待されるよう頑張っていくことになる。

学生時代に遊びでよく限界へ挑戦することをやった。

それは寝ないで何時間いられるかとかという遊びではあったが、何かの限界にチャレンジすることは好きです。

今後とも新しいことに取り組む場合は、チャレンジ精神を持ってやっていきたいですね。

先輩としての経験・アドバイス

入社して9年目となりますが、これまでの経験として大学ゼミでアジア経済を勉強して卒論も書いたが、実際に現地を観ていたほうが良かったと思っています。その意味で海外旅行はどんどんして欲しい。また、若いうちは特に勉強、友人との付き合い、アルバイトなど何事にも全力で向かって欲しいと思います。

リーガロイヤルホテル小倉

〒802-0001  
北九州市小倉北区浅野2-14-2  
TEL (093) 531-1121  
FAX (093) 521-2730  
電車ではJR小倉駅新幹線口空中回廊で直結、徒歩3分

商経同窓会の北九州支部は植村さんを窓口で当ホテルを利用しています



朝久と植村氏



## 支部だより



### 平成25年の久留米支部会を開催 久留米支部会

久留米支部長 江頭 義人 (昭42年卒)

二年に一度の支部会を、平成25年2月16日に開催。来賓には薬師寺名誉学長・我らが代表宮原岩政常務理事・杉本英二商学部長・山田和敏経済学部長・福永文美次期商学部長等の先生方に出席いただきました。会員にあっては153名の参加を得て、更には子供集団「童女来太鼓」の力強い太鼓の音と共に始まり、荘厳かつ盛大に、然も私たち同窓会の良いところである先輩後輩の隔たりがなく、和気あいあいの中、昔を語り、今を

語り、数年・数十年の時の経過が嘘の様な楽しいひとときを過ごしました。会の終わりには恒例であるところの全員で肩を組みあい会場一丸となって「久留米大学校歌」を声高らかに斉唱し、アッという間の2時間余りではあったが、会員の相互親睦を目的とした思いが達成出来たことを毎回ながら会員の皆様に感謝します。

最後に、支部の活動を支えてくださった約30余名の支部幹事の皆さんにお礼を申し上げます。



平成25年2月16日 於 ホテルニュープラザ久留米

### 「楽しく、元気な」北九州支部同窓会 北九州支部会

北九州支部相談役 太田 一宏 (昭41年卒)

平成25年1月26日(土)18時より「リーガロイヤルホテル小倉」において、総勢42名の出席により開催されました。

総会の前に、元産経新聞政治部長北村経夫様より「安倍政権の行方」と題して講演して頂きました。

来賓として山田経済学部長、大木会長、大石組織委員長にご出席いただき、大学の現況や同窓会活動について話されました。また、平川福岡支部長、榊原山口県支部長も参加された。支部の活動に対し、同窓会本部・大学及び他支部のご支援に感謝申し上げます。

懇親会に先立ち、本日81歳の誕生日を迎えられた1回生(昭和29年卒)の(株)柏木興産会長の柏木先輩より、創業50年で年商100億円を越える企業に成長させた、力強い話を頂きました。続いて、昨年、行橋市議会議員に当選された20回生の村岡幹事より講話がありました。懇親会では自己紹介の中、酒を酌み交

わし、和気あいあいに友好を深め、大いに盛り上がりました。

最後に応援団指導部OBの18回生森永幹事の力強いリードのもと、全員が腕(絆)を組み、今日の出会いの喜びを感じながら、元気に校歌を斉唱し、再会を誓って閉会しました。

北九州支部は広域で同窓生も増加しています。そのような状況の下、支部役員は、世代と学部の枠を越え

て、同窓生に声かけ合い「楽しく、元気な同窓会」を目指します。伊藤支部長は急な病により入院され、残念ながら出席できませんでした。

#### 久留米大学商経同窓会 お知らせ 北九州支部総会

1. 期 日 平成26年2月15日(土)
2. 時 間 18時より
3. 場 所 リーガロイヤルホテル小倉



# 佐賀県支部会

佐賀県支部会

前佐賀県支部長 **中橋 肇** (昭37年卒)

平成25年3月9日(土)久留米大学同窓会・佐賀県支部会を、商経同窓会主催において佐賀市の「グランデはがくれ」で開催した。本日の支部会参加者は37名であった。来賓には薬師寺名誉学長・杉本商学部学部長・福永次期商学部長・山田経済学部長、大木商経同窓会会長・島田副会長及び文学部同窓会・法学部同窓会様・医学部同窓会佐賀県支部長各々と宮原常務理事が出席された。

総会では、今後の総会参加者増や、同窓会に関心を持っていただく事、特に若い方の参加、また、文学部・法学部の方への参加を呼び掛ける事と、終身会員の増についての協力を強くお願いした。

講話は「三重津海軍所と佐野常民」と題して、佐賀伝承遺産研究会会長の土師俊資氏が佐賀市に在る三重津海軍所は日本近代化の中心地であり、歴史的価値が再確認されたところで、今世界遺産の登録に向けてのもので

あることが説明された。ここで、日本初の蒸気船「凌風丸」が建造されたことも知ることが出来、佐賀県人として意義ある講話をして頂いた。

懇親会では、来賓の方と、また、同窓生同士が酒を酌み交わし和やかに、親しく語り合い親睦を深める事が出来有意義な懇親会であった。最後に全員で校歌を斉唱し1年後の再開を約束して終了した。

なお、同窓会情報を見て支部会の案内が来ていない方も参加できます、参加希望の方も支部長までご連絡下さい。案内状をお送りいたします。若い方大歓迎です。お待ちしております。



佐賀県支部会 平成25年3月9日 於 グランデはがくれ

お知らせ

### 久留米大学商経同窓会 佐賀県支部総会

- 1. 期 日 平成26年3月9日(日)
- 2. 時 間 受付 午前10時00分  
開始 午前10時30分
- 3. 内 容 総会・講話・懇親会
- 4. 場 所 佐賀「グランデはがくれ」  
電話 0952-25-2212  
JR佐賀駅南口より徒歩5分
- 5. 会 費 6,000円
- 6. 連絡先 支部長 梅崎哲夫  
(昭41年13回卒)  
携帯 090-5382-3243

# 38回目の同窓会

都城支部会

前都城支部長 **佐藤 勇** (昭55年卒)

第38回都城支部総会は、平成25年1月19日(土)に昨年に引き続き

卒業生も勤務している霧島酒造株式会社との関連施設である「霧の蔵ブル

ワリー」に於いて開催致しました。

ご多忙の中、大学より山田経済学部長、本部より大木同窓会長、大石組織委員長に遠路お越し頂き、宮崎支部より二宮支部長、丸田幹事、鹿児島支部より田中事務局長の出席を頂きました。山田経済学部長より大学の状況、大木同窓会長より同窓会活動のお話を賜りました。参加者は



都城支部会 平成25年1月19日 於 霧の蔵ブルワリー

お知らせ

### 久留米大学商経同窓会 都城支部総会

- 1. 期 日 平成26年1月25日(土)
- 2. 時 間 18時30分より
- 3. 場 所 川声  
都城市牟田町7-5-2  
(電話 0986-26-5181)
- 4. 会 費 5,000円
- 5. 問合せ 支部長 松元敏行  
携 帯 090-1872-3264  
勤務先 0986-23-7525



総勢13名と少し寂しいものがありました。久しぶりに参加された同窓生の元気な姿もあり、開宴後はお互いの近況報告や学生時代の思い出話に花が咲きました。

また、ささやかではありましたが、大抽選会(?)を開催するなど、和

気あいあいの雰囲気の中で予定時間が経過し、最後に記念撮影を行った後、来年の再会を約束し、閉会となりました。

ここ数年、同窓会参加者が減少しています。幹事会としても同年代・特に若い世代の参加者の確保に努め

て行かなくてはならないと感じております。次回は多くの皆様方のご参加をお願い致します。

最後に、年始のお忙しい中をご出席頂きました皆様、有難うございました。

## 長崎支部総会を開催！

長崎支部会

長崎支部 山田 耕一 (平4年卒)

当支部では毎年、総会・懇親会を行っておりますが、本年も平成25年10月19日(土)にホテルニュー長崎において開催致しました。毎年このホテルにて開催しておりますが、今回は幹事の計らいにより、当ホテル最上階で一番人気の中華料理「桃林」にて行いました。長崎は先日、「日本三大夜景」に選出され、そのすばらしい夜景を眺めながらの開催となりました。

冒頭、後藤支部長より開催挨拶があり、来賓としてご出席頂いた福永商学部長、山田経済学部長、大木商経同窓会会長よりご挨拶頂き、その後、記念撮影、乾杯のご発声を大石組織委員長より頂きました。参加者は例年レベルの総勢24名と少し寂

しいものとなりましたが、久しぶりに参加された同窓生の元気な姿もあり、開宴後はお互いに近況報告や世代を超えた親睦を深めました。

最後に校歌斉唱、万歳三唱にて閉会いたしました。あまりの盛り上がりにより時間不足は否めず、大多数の方が2次会へと参加されていました。

今後は同窓会参加へのより一層の呼びかけ等を行い、出席者を増やしていけたらと願うばかりです。



長崎支部会 平成25年10月19日 於 ホテルニュー長崎

## 親睦更に深まる！筑邦銀行支部

筑邦銀行支部会

筑邦銀行支部長 坂本 真司 (昭58年卒)

私たち筑邦銀行支部は、母校の地元久留米に事務局を置く職域支部であります。支部同窓会を毎年開催しております。平成25年度も7月19日にハイネスホテル久留米におきまして、38名の参加者と薬師寺名誉学長様、大木同窓会長様、大石組織委員長様のご出席のもと、盛大に開催致しました。

まず、大木同窓会長様にご挨拶をいただいたあと、薬師寺名誉学長様に久留米大学の近況報告をいただきました。続いて、久留米市役所支部からご参加いただいた田中多門様(昭

和47年卒)からご挨拶をいただき、会計報告等のあと、田中多門様の力



筑邦銀行支部会 平成25年7月19日 於 ハイネスホテル久留米

強い乾杯の発声で懇親会の幕が開きました。懇親会では新入会員6名が自己紹介をするなど、職域支部なら

ではの日頃の話題で大いに盛り上がりました。フィナーレは、校歌の横断幕を前に出席者が肩を組んで校歌

を斉唱し、親睦が更に深まりつつ、最後は大石組織委員長様の万歳三唱で会を締めいただきました。

## もうすぐ満一歳、久留米市のイメージキャラクター・くるっば

久留米市役所支部会

久留米市役所支部長 **大津 秀明** (昭55年卒)

同窓会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

同支部では毎年、総会・懇親会や支部間交流などを行い、会員相互の情報交換に努めています。本年度も、昨年8月9日に支部総会・懇親会を行い、さらに地元久留米の職域支部であります筑邦銀行支部との交流会を11月8日に行いました。交流会には、大木同窓会会長などの参加のもと、毎回のことではありますが、楽しく歓談し交流することができました。

また、昨年久留米市では、市のイメージキャラクターとして、全国から寄せられた約6,000件の応募の中から「くるっば」を選びました。「久留米に来てほしい」「久留米がパッと明るくなる」といった思いが込められています。

生まれは久留米市筑後川1番地、誕生日は平成25年3月16日、もうすぐ満1歳で久留米市の特別市民です。さらに、『キラリ久留米宣伝課長』を拝命し、久留米市の魅力づくりお手伝いや、その魅力をたくさんの人

に伝えて、久留米ファンを増やす仕事をしています。詳しくは、市のホームページをご覧ください。



久留米市イメージキャラクター・くるっば

## 本年も全学部出席による盛り上がりの同窓会になった

日田支部会

日田支部長 **田中 進** (昭45年卒)

平成25年10月5日18時より亀山亭ホテルに於いて、同窓会日田支部会を、久留米大学より薬師寺名誉学長、福永商学部長、山田経済学部長、同窓会より大木会長、大石組織委員長、平川福岡支部長、医学部同窓会より済生会日田病院院長医学部同窓会日田支部長西田先生、済生会日田病院副院長西村先生、みよしクリニック院長三好先生、宮原レディースクリニック院長宮原先生、商経同窓会久留米支部大倉さん、商経同窓会福岡支部原さん、文学部同窓会より矢島会長、法学部同窓会より事務局の佐々木さんの御出席を頂いて、日田より会員が出席して39名にて開催致しました。

薬師寺名誉学長、福永商学部長、山田経済学部長より久留米大学の現状及び今後の方針についてお話があり、大木会長より同窓会活動の現状についてお話がありました。医

学部同窓会の日田支部長で済生会日田病院院長西田先生の挨拶、医学部、法学部、文学部同窓会の役員の紹介、懇親会に入り、商学部2回生の金谷先輩の挨拶、済生会日田病院副院長西村先生の乾杯の音頭で懇親会へと移り、本年も和気藹々の本当に素晴らしい懇親会が行われました。その

後、校歌斉唱、筑邦銀行日田支店の合原次長の万歳三唱、商経同窓会幹事日田支部25回生矢野さんの打込みで、会は楽しい雰囲気にて無事終了する事ができました。

来年も全学部、卒業生の一人でも多くの参加をお願い致します。



日田支部会 平成25年10月5日 於 亀山亭ホテル

# 宮崎支部同窓会報告書

宮崎支部会

宮崎支部 丸田 昇次 (昭61年卒)

平成25年7月20日(土曜日)午後6時半より居酒屋「東天閣」にて第12回宮崎支部同窓会が行われました。大学から福永商学部長、山田経済学部長、大木会長、大石組織委員長、都城支部より吉原幹事、松元幹事もお越しいただき総勢25名で盛大に開催されました。

宮崎支部では過去台風襲来や口蹄疫の影響で2回中止になりました。昨年も九州北部豪雨の影響で高速道路や鉄道が不通になり宮崎への交通手段がなくなり、久留米からのご来賓も欠席されたいきさつも有り心配しておりましたが、何事もなく開催できたことを幹事として安堵しているところです。二宮支部長の挨拶から始まり、大学近況報告等があり大石組織委員長に乾杯の音頭をいただき懇親会が始まりました。最後に岩

下先輩のエールで校歌を全員で斉唱し吉原幹事の万歳三唱にて、次回の再会を約束して閉会しました。

宮崎支部同窓会として今回12回

目になりました。このごろは若手会員にも恵まれず、同窓会としてもパターン化していると思います。ただ懇親会をするだけではなく都城支部や医学部同窓会と連携して異業種交流を含めた勉強会等企画して意義ある会にしたいと思います。



宮崎支部会 平成25年7月20日 於 東天閣

# 第11回福岡県南支部開催

福岡県南支部会

福岡県南支部長 川野 博 (昭36年卒)

平成25年5月11日(土)、県南支部総会が柳川の「しげちゃん」に於いて開催された。

今年度は来賓に久留米大学商経同窓会々長、大木武彦氏を初め、商学部長福永文美夫氏、経済学部長山田和敏氏、組織委員長大石哲郎氏を迎え、総勢24名の参加となりました。それぞれご来賓からはご挨拶をはじめ、大学の近況並びに情勢をお話しいただきました。同会では、来賓の先生方や同窓会出席者との和やかな雰囲気の中、終始楽しいひと時を過ごし、親睦を深めることが出来まし

た。

尚、この度、支部長の拝命を賜りました第8回商学部を卒業しました川野博です。志岐弘嘉前支部長の下

に、事業を引き継ぎ微力ではありますが、支部の充実と同窓会の発展に努力いたしますので、ご協力の程よろしく申し上げます。



福岡県南支部会 平成25年5月11日 於 割烹しげちゃん

久留米大学商経同窓会  
福岡県南支部総会

お知らせ

- 1. 期 日 平成26年5月10日(土)
- 2. 場 所 未定

# 第4回八女支部会

八女支部会

八女支部長 古賀 祐介 (昭59年卒)

平成25年2月23日(土)、八女市のメモリアルホールいわ井において、第4回八女支部会が開催されました。同窓会本部より大木会長、大石組織委員長、また大学より、杉本商学部長、山田経済学部長に参加を頂きました。今回は筑後市の卒業生の皆さんに

も支部会の案内を送付し、八女筑後合同での開催となりました。支部会では活発な意見が飛び交い、有意義な会になったと思います。上は昭和32年卒の大先輩から、平成7年卒の若い方まで、幅広い参加があり、それぞれに大学あるいは同窓会に対

して厚いご意見をいただきました。懇親会に移っても近況報告や在学当時の話で盛り上がり、懇親を深めることが出来ました。

今回は商学部のみ19名の参加でしたが、他の学部の方にも輪を広げ、八女支部会への参加を募っていきたいと思います。

最後にお忙しい中、ご参加いただきまして本当にありがとうございました。



八女支部会 平成25年2月23日 於 いわ井

### お知らせ

#### 久留米大学商経同窓会 八女支部総会

- 1. 期 日 平成26年2月22日(土)
- 2. 時 間 午後6時より
- 3. 場 所 メモリアルホールいわ井  
八女市津江599  
TEL 0943-23-2222
- 4. 会 費 5,000円

# 第4回支部総会を開催

鳥栖・三養基支部会

鳥栖・三養基支部長 真島 利幸 (昭44年卒)

平成25年3月24日に大木会長、江頭副会長、宮原常務理事、御臨席のもと本年度支部総会を鳥栖市古賀町の光林飯店にて挙行了した。

宇佐前支部長より前期の活動報告があり、特筆すべき事として、当支部の宮原常務理事が春の叙勲で旭日中綬章を受けられ祝賀会を催し、支部全員の喜びでありました。総会后、本学医学部卒業である石田医院の石田史郎先生に「健康と病」をテーマに講話をいただき、健康の有難さを再考させられた良い機会となった。懇親会では、冒頭に大木会長より同窓会及び大学の現況、就職、入試等々についての説明があり、出席者全員安堵の様子が伺えた。更に宮原常務理事から叙勲祝賀会への謝辞があり、

懇親会へと移行し、酒を酌み交わす中、近況等を懇談しつつ、同窓会の目的である会員相互の親睦と研鑽を

唱え、大学の増々の発展と支部活動の活性化を計り、次回支部総会の再会を期し、万才三唱して散会した。



鳥栖・三養基支部会 平成25年3月24日 於 光林飯店

## 第12回東京支部総会報告

東京支部会

東京支部 小島 成郎 (昭45年卒)

平成25年11月9日(土)四ツ谷の『スクワール麹町』にて第12回東京支部総会が催されました。本部より大木同窓会長・大石組織委員長、また大学から塚崎商学部長名代・山田経済学部長・駄田井経済学部教授・宮原文学部教授と宮原常務理事のご出席をいただきました。さらに今回は東京御井町会の笠会長、筑邦銀行龍常務・石橋東京支店長のご招待者を迎えて総勢39名の賑やかな支部総会となりました。

次第により14回生川村支部長の挨拶に続き会計報告・監査報告・役員選出の承認の後、大木会長から同窓会状況、塚崎名代・山田学部長から大学の現況をお話いただきました。

1回生青沼先輩の乾杯の後、駄田井教授から「竹筏で筑後川下り」による久留米の活性化を熱く語っていただき、初参加者(2名)からの一

言、10回生梅野先輩のゴルフ同好会報告と続きます。

宮原理事・大石委員長からのご挨拶の後に、32回生重松幹事によるお楽しみ抽選会ではくじ引きの都度歓声が上がり、懇親会は盛り上がり

をみせました。16回生渡邊副支部長のボーカルリードによる校歌斉唱で学生時代を想い出しながらも8回生高木顧問の閉会の挨拶をもって和気藹々のなか散会となりました。



東京支部会 平成25年11月9日 於 スクワール麹町

## 第13回嘉飯支部会開催

嘉飯支部会

嘉飯支部長 永光 皓司 (昭38年卒)

平成25年11月9日(土)に飯塚市内の「のがみプレジデントホテル」にて第13回の同窓会を開催いたしました。

当日は、公私とも大変お忙しい中を学校側から福永商学部長、同窓会側から島田征児副会長のお二人のご参加をいただき、それぞれ大学の現状や本部並びに各同窓会支部の状況等についてお話いただきました。

今回は参加者が6名という状況の中、来賓のお二人には大変寂しい思いをさせてしまい、参加者一同心から反省の言葉しかありませんでした。

それでも46年ぶりに初めて参加をされて、当時の大学時代に思いを馳せながら走馬灯のように過ぎ去った諸々の懐かしさに感嘆をされ、話

が弾んでいたのを見ますと、人数は少なかったけれども同窓会の有難さ

を思い知ることができた感がありました。

次年度は、支部組織の在り方と開催時期の問題を含めて再構築していきたいと思います。



嘉飯支部会 平成25年11月9日 於 のがみプレジデントホテル

# 第3回久留米大学商経同窓会 関西支部総会報告

関西支部会

関西支部長 市来 輝夫 (昭46年卒)

平成25年10月27日(日)ホテルヴィアーレ大阪にて第三回久留米大学商経同窓会関西支部総会を無事、開催することができました。参加者が減った第二回よりさらに減りましたが、卒業生11名が参集し、同窓会本部から大木武彦会長、大石哲郎組織委員長、来賓として大学から塚崎公義商学部教授、山田和敏経済学部長にお越しいただきました。雨河正樹氏(昭40年卒)の司会進行により、先ず市来輝夫支部長の挨拶があり、大木会長を始めとした来賓の方々の挨拶の後、豊島顧問の乾杯の

音頭で食事をしながら歓談いたしました。思い出話や近況に花が咲いたころ、アマチュア活動家によるマンドリンとギターデュットの演奏を楽しんでもらいました。演奏で盛り上がった勢いで、カラオケ大会突入、最後に校歌を斉唱しました。我が母校、久留米大学を偲び、有意義な時間を楽しく過ごさせていただきました

でしたが、これからも総会を意義あるものにする為にも、参加者増を誓い活動していきたいと思ひます。

**久留米大学商経同窓会  
関西支部総会**

お知らせ

- 1. 日 時 平成26年10月26日(日)
- 2. 場 所 未定



関西支部会 平成25年10月27日 於 ホテルヴィアーレ大阪

## お知らせ

役員の任期満了日が近づいてまいりました。幹事希望の方は所定の推薦願(事務局にあります)を役員等推薦委員会へご提出いただきますようお願いいたします。なお、支部長と幹事もしくは支部長と代議員の推薦が必要です。また、今回の幹事の支部配分数は平成25年4月20日施行の久留米大学商経同窓会幹事の支部配分数内規によります。審議の上、幹事として相応しい方を規程により推薦します。

**提出期限:**平成26年3月10日(月)

**提出先:**本部事務局(役員等推薦委員会)

○持参の場合

久留米大学御井学舎千歳会館1階事務室

平日10時から17時受付

○郵送の場合

〒839-8502

福岡県久留米市御井町1635番地千歳会館

久留米大学商経同窓会役員等推薦委員会

**問合せ:**本部事務局

TEL0942-44-2432 FAX0942-44-3846

syoukei@ktarn.or.jp

なお、正会員を前提とし、同窓会と大学の発展に貢献できる優良かつ善良な方、終身会費または3年にわたり年会費を納入した方、その他委員会が適当と認めた方に限ります。

平成26年1月1日  
役員等推薦委員会

## = ゼミの先生を囲んで = (井上吉男元教授米寿の祝い)

恒例の「井上先生を囲む会」が10月6日、7日、熊本のユウベルホテルで開催されました。今回で11回目となる会は先生の88歳の米寿を祝う会として特別な思いで茨城、岡山、愛媛、山口、熊本、佐賀、福岡の各県から12名が集い賑やかで意義あるひと時となりました。誠にありがとうございます。

先生は88歳となる現在でも地域の様々な要望を受けて執筆活動をされていると云う健在ぶりです。卒寿、白寿とご健勝でご自愛のほど会員一同願っています。



## 水泳部OB会便り

会長 小林 民治 (昭33年卒)



今年はKUSメンバーの激励会を兼ね、昨年末の忘年会と合わせ4回開催しました。6月の総会は原鶴温泉「泰泉閣」に於いて開催。1回卒の稲田征夫先輩初め、4回卒の野村光幸、広重重時両先輩の出席もあり、12名の参加となりました。同ホテルには25米プールもあり、KUSのメンバーは練習を楽しんでおりました。昨年末より9回卒の野田清君もKUSメンバーに登録、早速大分大会にてメダルを獲得しております。メダル数は昨年を超える成績を挙げております。

又、今年は7回卒の立石正巳君は7月14日開催の全日本マスターズ水上選手権にて、10年連続出場の表彰の栄を受けました。彼は15年前60歳以上の部、50米自由形で27秒66の日本新記録も作っております。

来年はKUSメンバーに80歳以上が2名登録され、ますますKUSはメダルを獲得すると思っておりますので、今後も応援をよろしく願います。

※KUS：Kurume University Swimming Clubの略



## 久留米・県南支部合同ゴルフ会

平成25年11月13日(水)第5回秋期ゴルフ大会を八女上陽ゴルフ倶楽部で行いました。当日の朝は冷え込みましたが、スタートの頃は快晴で



暖かい一日でした。今回、新しく久留米支部から2名、上野正昭氏(商25回生)、弥永祐司氏(商36回生)が加わり、合計14名の参加者でした。結果は優勝、県南の福山泰幸氏(商13回生)、2位、県南の川口治彦氏(商14回生)、3位は久留米の馬場敏夫氏(商12回生)でした。次回は平成26年4月に第6回春期コンペを行う予定です。是非、多くの方が参加くださる様願います。

幹事 国武勝征(商14回生)

## 第55回久留米OB会

平成25年10月10日(木)、第55回久留米大学同窓会福岡支部のゴルフコンペが伊都ゴルフ倶楽部にて開催されました。参加者は薬師寺名誉学長をはじめ6組22名で優勝者は高崎政明氏(11回)でした。薬師寺名誉学長、ご参加ありがとうございました。高崎氏、優勝おめでとうございます。(神村)



## 第11~12回東京支部ゴルフ同好会コンペ

ゴルフ同好会会長 梅野 光信(商10回卒)

東京支部では第11回コンペを平成25年3月28日(木)川越グリーンクロス(埼玉県川越市)にて開催、第12回コンペは平成25年10月3日(木)場所を変えて、紫カントリークラブあやめコース(千葉県野田市)にて開催し、いずれも本村正勝氏(商2回卒)が連続優勝されました。

東京支部で特筆すべきは1回卒青沼幹夫氏・連続優勝の2回卒本村正勝氏・3回卒馬場和人氏の各先輩方が、満80歳前後の年齢とは思えぬほどお元気で、ほぼ毎回参加して下さいます。ゴルフは健康増進に良いと言われますが、東京支部の大先輩方は実践の場でそれを証明してくださっています。

次回は平成26年3月13日(木)川越グリーンクロスにて開催の予定です。東京支部会員はもとより他支部および他学部所属の多数の方々のご参加をお待ちしております。



## 第5回久留米支部ボウリング大会

去る11月23日(祝)、ユーズボウル久留米にてボウリング大会を実施し、楽しいひと時を過ごしました。成績は次のとおりです。

優勝：原口彰氏、準優勝：大木武彦氏、3位：山本梨世さん。

山本梨世さんは中学生です。おめでとうございます。

次回は平成26年11月22日(土)18:00~スポガ(文化センター前)の予定です。皆様のご参加をお待ちしています。ボウリング愛好会事務局 吉富 巧



## 私の近況

お願い あなたの近況報告をお待ちしています。

### 踊って元気

中島 美代子 (昭41年卒)

台風23号と24号の間を縫って、今年も井上会に参加して来ました。この会の事は又、詳しく紹介があると思います。

私自身は古希を迎え、ますます若くをモットーに、孫達とAKB48を踊り、町内の公民館で健康体操とフラダンスを習っています。大川ネットワーク踊り隊では、御井学舎のゆに広場で「大川よかたい」も披露しました。この時は、学生時代の学園祭を思い出し、舞台の上で胸にじんときてくるものがありました。未来より過去の方が多くなり、時にへこむこともあります。が、「老婆は一日にして成らず」などと、自分を納得させ、人生を楽しんでいます。目下、町内の秋祭りに出演する踊りの猛稽古中。友人達と近くて、安くて、短い旅も時々です。「妻は元気で留守がいい」と云われたいのですが、そうもいかず、三食踊り付きで生きています。



### レクリエーションと女子会

松本 千英 (昭62年卒)

22歳で卒業し、来年は50歳という節目を迎えました。卒業後、特別養護老人ホームで13年間勤務し、その後は介護福祉士の養成校で10年間教員として勤務しました。そして、またデイサービスで主任相談員として勤務し、この同窓会会報が発行される平成26年1月には再び、大川看護福祉専門学校介護福祉学科の教員として働き出します。

卒業した翌年昭和63年より、レクリエーションを学び、資格を取得（福祉レクリエーションワーカー・レクリエーションコーディネーター）、もちろん介護関係（介護福祉士・ケアマネジャー）の資格も取得し、現在に至っています。昨年（平成25年）10月には福岡国際会議場で全国レクリエーション大会も開催され、ボランティアスタッフ兼発表者（福岡の福祉レクリエーション）として動き、レクリエーションが生活の一部となっているようです。

昨年（平成25年）11月17日には同窓会女子会を立ち上げるための準備会を開きました。卒業生の女性の仲間の輪を作り上げたいと思っています。今年（平成26年）は11月に予定しています。ぜひ、女性の諸先輩始め後輩の皆様の参加をお待ちしています。女性の皆様は結婚等で案内が届きにくいと思います。同窓会まで、ご連絡先を一報頂ければ幸いです。





## 私の近況

お願い

あなたの近況報告を  
お待ちしております。

## 私の人生

中谷 博毅 (昭43年卒)

今年11月4日、あのか祭の開催を知り、35年ぶり卒業以来初めて、久留米大学御井キャンパスに妻と行きました。私が卒業した昭和43年は1年間だけ丘の高い所に出来た新しい校舎で授業を受けた記憶があります。今の大学は立派に整備され、これが大学だと思い、大変感激しました。校庭で妻と300円のおいしい学生が作った皿うどんを食べながら昔を懐かしく思い感慨無量でした。

現在の私は平成1年に設立した(株)おおじま調剤薬局を運営させていただいております。福岡県下に18軒の調剤薬局を開設し、八女市を中心に行橋から大牟田まで毎日忙しい日々をおくっています。卒業以来、日本の高度成長の中、企業戦士と言い張れるような毎日でした。座右の銘として“初心忘るべからず”を胸に、ルールは守る、人に親切にする、嘘をつかない、勉強するを信念に頑張ってきたつもりです。今の学生に人生はまさに山あり、谷ありだけど、一生懸命努力していればなんとかなるものです。努力あるのみです。



## 今、思えば

坂本 充則 (平7年卒)

平成7年に商学部を卒業し、早18年。青春の久留米大学。御井学舎の風景は今でもはっきりと私の脳裏に映し出されます。サッカー部の先輩が怖かったこと。笑いが溢れていた部室。インカレ九州3位。原付通学。ゼミの別府研修。原稿欄がなくなりそうです。現在、私は土地家屋調査士として個人事務所を運営しています。サラリーマンから自営へ。学生時代には想像もしない道をいつの間にか選び歩いています。仕事の業務内容は土地や建物の調査、測量、登記が主なものです。土地の分筆、合筆、地目変更の登記申請、土地の境界明示、建物の新築、増築、取壊しの登記申請等、登記所へ依頼人に代わり申請いたします。自営業は、夢や時間を自分の意志に重ねることができる素晴らしさがあります。反面、現実の責任と成果が直列つなぎで押し寄せて来ますが、これも自分で決めた道です。依頼者の信頼、満足の声を励みに頑張っています。久留米大学での4年間に感謝し、商経同窓会のますますの発展を祈念いたしております。



## 経済学部20周年記念シンポジウム



挨拶される山田経済学部長

経済学部では10月13日(土)御井学舎内において創設20周年の記念シンポジウムが開催されました。冒頭、山田経済学部長から20周年を迎える事業として挨拶に続き、第1部として松下 愛氏(久留米大学比較文化研究科)による「タイ経済と日本企業」、米坂 浩昭氏(海外コンサルタント協会企画委員)の「ラオス経済と日本経済について」、第2部として渡部 一憲氏(現代文化研究所常勤顧問)の「トヨタ自動車のアメリカでの経験」をテーマに講演されました。

いずれもタイの洪水と戦う日本企業、ラオスへの日本企業の進出、トヨタの大量リコール問題とその対応など等、非常に興味深い内容の講演会でした。

## —34年ぶりの応援団旗披露—

平成25年3月25日、ハイネスホテル久留米に第4代団長緒方信孝氏(商6回生)以下26名が集まり、久留米大学応援団指導部OB会が開催された。

昭和の時代、九州の大学応援団の中でも屈指の存在感を誇っていた久留米大学応援団!その応援団のシンボルでもある大団旗が79年に廃部となって以来、行方もわからなくなっていたが、第20代団長を務めた木原茂利氏(商22回生)と大学職員の方の協力で御井キャンパス内でこの度発見された。今回、その披露を兼ねてのOB会でもあった。

部の活動としては、野外スポーツの野球をはじめ、屋内スポーツの空手、柔道等運動クラブの応援団指導部として選手をサポートしてきた。OB会では、久留米大学に応援団再起を願う声が強く、大学関係者への働きかけもおこなっている。スポーツクラブの応援に応援団の存在も欠かせないことを、学生に理解していただく。その役割もOB会での大きなテーマでもある。(朝久)



## 久留米大学KUC (コーラス同好会)

中島 邦彦(昭41年卒)

私達は昭和38年、佐賀・福岡の歌を愛好する通学仲間を中心に久留米大学KUC(コーラス同好会)を創部。卒業時は約30数名の部員数となった。当時は旧兵舎跡の部室や学舎裏の園芸試験場等に、講義の合間や放課後に歌集を持ち寄り、愉しく合唱したり、石橋文化センターでの文化祭での合唱等は良きサークルの思い出の一つです。その後、2年に1度親睦会を両県を中心に開催。今年3月、九州外初の京都にて一泊二日で開催したところ、遠くは関東・関西・中国・九州各地より14名の友情の輪が集い、お互いの学生時代の懐かしい思い出を語る有意義な機会となった。また、嵐山での清流の音や、嵯峨野の静寂した野山、そして歴史ある神社・仏閣や京都の古い街並などでの朝の心地良い散策は、私達の心を一層癒して呉れた。これも40年来の大学仲間との深い絆のお蔭と感謝し、今後益々会員相互の親睦の場となることを祈念する。



## 全国支部長会開催される 支部運営に活発な意見交換

11月30日ハイネスホテル久留米において、恒例の全国支部長会が本部役員を含め、総勢28名の参加で開催されました。

冒頭、大木会長より遠路ご参加の支部長各位を労う挨拶から始まり、大学の現状や御井学舎本館の新棟建設(平成28年10月完成)が始まったことなどが報告されました。

会議では各支部長の自己紹介を兼ねて支部の現状報告があり、大方の意見は支部会へ会員を動員する苦勞や如何に運営資金を調達すべきかに集約され、赤裸々な意見交換がなされた。

会員名簿の取扱方法、案内ハガキの選別発送、出席会員による一人一人が次回に必ず新しい会員を動員する、支部役員のパーティ券販売、各支部開催のゴルフ会やボウリング会に参加した会員へ支部会参加を呼び掛ける等々の意見がだされた。また経費捻出には支部会参加費の中から一部(5%~10%)を運営費に留保することや年間運営費を別途1000円程度徴収する等の意見がだされて大いに意義ある会議であった。



## 移動幹事会開催

8月24日(土)~25日(日)にかんぼの宿柳川で、山田経済学部長をお招きして移動幹事会がおこなわれた。会長の挨拶の後、議事では、あのか祭補助金を商経で50万円することで承認された。また、久留米大学の準硬式野球部がこの夏の第12回全日本大学選抜準硬式野球大会で決勝戦に進出し、明治大学と対戦し準優勝と健闘したことが報告された。



## 第1回久留米大学合同女子同窓会開催する

11月17日(日)福岡天神の久留米大学福岡サテライト(エルガーラ6階)で総数7名(薬師寺名誉学長、平川福岡支部長も応援参加)で立ち上げました。

11時30分から総会を開始して、ランチ会をすぐ近くの天神テルラで美味しい昼食をしながら今後の楽しみを語り合いました。

当初は有志だけの集まりですが、これを契機に毎年回数を重ねることによって、多くの女性卒業者が来て良かった、参加して良かったと言われるよう頑張っていきたいと思えます。来年も11月に開催致します。

世話人 松本千英(昭62卒)、原口 彰(昭42卒)



# 御井学舎新棟建築起工式を挙行

平成25年9月4日、待望の久留米大学御井学舎の新棟（教室、研究および管理棟）の建築工事起工式が執り行われました。起工式には神代理事長、宮原常務、理事、各学部長、同窓会長、事務方、工事関係者が多数出席して工事の安全を祈願しました。1期工事は平成27年2月、2期工事は平成28年10月に完成予定です。地上10階地下2階、合計延べ床面積は約28,000㎡となっています。御井地区におけるこのランドマーク的新棟が御井キャンパスの学生生活、教育、研究環境をより充実向上させ、久留米大学のさらなる発展、PRにつながることを期待しています。

（教室、研究および管理棟）の建築工事起工式が執



## ＝平成26年度一般入試日程＝

- 文 学 部 心理学科・情報社会学科・国際文化学科  
社会福祉学科  
├ 子ども家庭福祉コース ─ 英語コミュニケーション専攻  
└ 医療福祉コース ─ 国際文化専攻
- 法 学 部 法律学科・国際政治学科
- 経済学部 経済学科・文化経済学科
- 商 学 部 商学科
- 医 学 部 医学科・看護学科



願書受付期間(必着)	試 験 日	募集学部・学科	試 験 地	合格発表
1月6日(月) ▼ 1月16日(木)	2月2日(日) 2月3日(月) 2月4日(火) 2月5日(水)	学 部 試 験 法 学 部 商 学 部 経 済 学 部 文 学 部	本学(御井) 北九州 長崎 鹿児島	2月20日(木)
1月6日(月) ▼ 1月16日(木)	2月10日(月)	文 系 学 部 統 一 試 験 文 学 部 法 学 部 経 済 学 部 商 学 部	本 学 (御 井)・山 口 県 本 学 (御 井)・福 岡 県 本 学 (御 井)・長 崎 県 本 学 (御 井)・大 分 県 本 学 (御 井)・鹿 児 島 県	2月20日(木)
12月18日(木) ▼ 1月16日(木)	2月1日(土) 2月13日(木)	一 次 二 次 医 学 部 医 学 科	本学(御井)・東京 本学(御井)	2月7日(金) 2月20日(木)
1月6日(月) ▼ 1月20日(月)	2月5日(水)	医 学 部 看 護 学 科	本 学 (御 井) 熊 本 ・大 分 鹿 児 島	2月20日(木)

※経済学部は「学部」として募集し、2年次進級の際に学科の振り分けを行う。  
 ※学部試験と文系学部統一試験は併願可  
 ※医学部医学科は福岡県特別枠入試を含む

●募集要項(願書) 送料込1,000円(郵便小為替)  
 〒839-8502 久留米市御井町1635  
**久留米大学入試課**  
 ☎0942(44)2160(直通)  
<http://www.mii.kurume-u.ac.jp/nyuushi/nyusi/>

## 会費納入のお願い

終身会費 15,000円(1回限り)  
 年会費 3,000円(年1回)

※どちらかお選びの上、郵便局からお支払下さい。

卒業生も約28,000名超の陣容となり会報にもかなりの費用を要します。このところを十分にご理解いただき、会費を納入くださいますようお願いいたします。なお、お振込みの際は同封の払込用紙(一般会員の方のみ同封)をご利用下さい。住所、氏名、電話番号のみでは確認できない場合がありますので、おわかりの範囲で卒業(年、学部学科)、学籍番号、会員番号、所属支部、勤務先をご記入下さい。

## 住所連絡のお願い

住所等お変わりの方はお忘れなく同窓会本部までお知らせください。ホームページのご利用が便利で簡単です。電話、ファックスもご利用ください。

TEL 0942-44-2432 FAX 0942-44-3846  
 ホームページアドレス <http://www2.ktarn.or.jp/~syoukei/>  
 メールアドレス [syoukei@ktarn.or.jp](mailto:syoukei@ktarn.or.jp)

## 訂正とお詫び

会報29号企業インタビューの企業名がベスト技研株式会社となっていました。正式には「ベスト技研株式会社」でした。福岡支部だよりに重松さんのお名前がありますが、正式には高松さんでした。ここに訂正してお詫びいたします。

## 編集後記

- 如何様にも恣意的に歪曲化され国民生活を脅かす、特定秘密保護法、そんなに急いで何処へ行く・・・暗黒の過去(秘密国家)の再来か。
- 悲しいかな“おもてなし”の日本列島、際限なきブランド偽装の連鎖。

(上床)

発行所 〒839-8502 久留米市御井町1635  
**久留米大学商経同窓会**  
 責任者 同窓会会長 大木 武彦  
 編集人 広報委員長 上床 一幸  
**TEL 0942-44-2432**  
**FAX 0942-44-3846**  
 URL <http://www2.ktarn.or.jp/~syoukei/>  
 E-mail [syoukei@ktarn.or.jp](mailto:syoukei@ktarn.or.jp)  
 印刷所 中央印刷株式会社